

# **（仮称）相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）連続立体交差事業 環境影響評価準備書に関する補足資料**

## **<補足資料内容>**

1. 廃棄物の再利用、再資源化について . . . . . P. 1
2. 建設機械の洗浄等に係る油分のリスクについて . . . . . P. 1
3. 帷子川親水緑道における代替流路について . . . . . P. 1

**令和 3 年 2 月**

**横 浜 市**



## 1. 廃棄物の再利用、再資源化について

本事業では、工事の実施に伴い発生する副産物について、国土交通省が公表している「建設リサイクル推進計画 2020」の達成基準値を目標として、可能な限りの再利用、再資源化に努めていきます。

表 建設リサイクル推進計画 2020 の達成基準値（抜粋）

(国土交通省、令和2年9月)

品目		減量化、再資源化等の 達成基準
建設廃棄物	アスファルト・コンクリート塊	99%以上 (再資源化率)
	コンクリート塊	99%以上 (再資源化率)
	建設汚泥	95%以上 (再資源化・縮減率)
建設発生土		80%以上 (有効利用率)

## 2. 建設機械の洗浄等に係る油分のリスクについて

日常的に行う建設機械の洗浄は、キャタピラーやバケット等に付着した土砂を落とすための洗浄となります。

建設機械から油分が発生するケースとして、整備不良や予期せぬアクシデントが想定されますが、使用する建設機械について適切にメンテナンスを行いながら工事を行うため、環境へ著しい影響を与えるような大量の油分が周囲に流出・拡散するリスクは低いと考えております。

また、工事中に予期せぬアクシデント等により油漏れが生じるケースを想定し、中性洗剤や吸着マットを準備し周辺への拡散を防止します。

## 3. 帷子川親水緑道における代替流路について

帷子川親水緑道内の親水水路は、「池・庭園ゾーン」から流末の帷子川合流部までの約 560 mに渡って整備されており、この内、約 13%（約 75m）が改変範囲に含まれます。緑道の一部をやむを得ず改変する計画となりますが、詳細な施工計画は、今後検討を進めていくため、現時点では、工事中の代替流路についての詳細をお示しすることは困難です。

今後、水生生物の保全の観点からも、流量や水質に可能な限り配慮しながら、詳細な施工計画を検討してまいります。